

令和7年度第1回 次世代道路網あり方委員会 議事要旨

1 日 時 令和8年1月21日（水）16：30～17：30

2 会 場 さいたま市役所 ときわ会館 中ホール

3 出席者 委員9名

（久保田尚、森本章倫、青山琢人、富吉正幸（代理）、蓮見純一、中島栄一、磯目慎治、安倍勝仁、田口昇）

※敬称略

4 欠席者 委員2名

（三浦詩乃、逸見昌弘）

※敬称略

5 議題

(1) 本委員会について

- 1) 令和6年度第1回委員会の意見と対応
- 2) 本委員会の枠組み

(2) 道路網に関するモニタリングについて

6 公開又は非公開の別 公開

7 傍聴者数 なし

8 議事要旨

(1) 開会

1) 公開又は非公開

委員会にて、運営規定に原則公開することが定められていること、本日の審議内容に非公開に該当するような個人情報等を取り扱うようなものがないことから公開することを決定した。

(2) 議題

1) 本委員会について

事務局より資料1「令和6年度第1回委員会の意見と対応」及び資料2「本委員会の枠組み」の説明を行った。

〈質疑等〉

特になし。

2) 道路網に関するモニタリングについて

事務局より資料3「道路網に関するモニタリングについて」の説明を行った。

久保田会長 p.8(事業推進状況モニタリング-廃止候補路線-)の右側図面に示されている本計画対象路線(オレンジ線)とはどこを示しているのかお教えいただきたい。

事務局 オレンジで示しているのは道路網計画で対象路線となっている中山道である。中山道のうち、赤点線で示している区間が廃止候補路線となっている。なお、南側の蕨市境までの区間については蕨市域で土地区画整理事業が進められているため、存続路線としている。

青山委員 p.4(今後の展開)に示されている、さいたま市版 PLATEAU VIEW をモニタリング結果の可視化ツールとして検討していることは興味深い。現時点で決まっていることがあればもう少し具体的に教えてほしい。

事務局 モニタリング結果の可視化について現時点で詳細を決めている状況ではないが、広域的に旅行速度を示すのは効果が見えにくいいため、本日の資料でも特定路線について取り出して紹介している。

青山委員 整備効果を市民にわかりやすく示すのは良い取組だと考えているため、関東地方整備局としても協力したい。

久保田会長 ぜひともお願いしたい。

森本委員 TOMTOM データを使うことに異論は無いが、さいたま市では、国土交通省が実施している「ETC2.0 プローブデータのオープン化に向けた基礎調査」の調査協力者に採択されていると伺っている。有償の TOMTOM データを今後も使い続ける考えなのかお教えいただきたい。また、p.33(今後の道路整備のあり方)に示されているアウトカムのイメージについて全車両の平均旅行速度も良いが、バスなど公共交通の平均旅行速度を示せると良いので、検討材料としてほしい。

事務局 ETC2.0 のデータの活用は考えている。過年度からの継続評価も含めて

検討したい。バスなどの公共交通の平均旅行速度についても、検討したい。

森本委員 TOMTOM データはサンプリングデータを拡大したデータであると理解している。一方で、ETC2.0 の信頼性が高いことに加え急制動のデータについても分析が可能となるため、事故件数の推移と併せて潜在的なリスクも含めた検討をいただきたい。

事務局 承知した。

久保田会長 バスなどの公共交通の平均旅行速度については、埼大通りの路線バスは、道場三室線の整備により、明らかに効果が出ていることを実感しているため、ぜひとも遡って評価していただきたい。

事務局 承知した。

久保田会長 p. 14 (道路整備計画の進捗状況 (道場三室線 2 工区の整備効果・ビッグデータの活用)) に示されている道場三室線周辺の旅行速度に関連して、資さんうどん浦和中島店が 2025 年 10 月にオープンしたことにより、日中時間帯で国道 17 号バイパスが混雑しているように見受けられる。昨年度より一部地点の旅行速度が低下している要因となっている可能性もあるため注意したほうが良い。

事務局 承知した。

久保田会長 地区交通プランについて、地下鉄 7 号線中間駅周辺地区は 120ha という広大なエリアのまちづくりとして計画しているため、ぜひ取り上げていただきたい。先日策定した地下鉄 7 号線中間駅まちづくり方針にあえてラドバーンの絵を入れてもらった。ラドバーンに負けないように、電動キックボードなど新たなモビリティの出現から 100 年経って評価されるようなまちを目指したい。今からやってギリギリ間に合うかどうかであり、まちができてから地区交通プランをやってはもったいない。

事務局 インパクトがある開発であり、中間駅のまちづくり方針を公表したところである。一般的のまちづくりではもったいないのはご指摘のとおりである。地区交通プランの位置づけを共有しながら、交通面も考えていきたい。

以上